

# 米国株式これ1本 (S & P 500・NYダウ・ ナスダック100)

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：米株これ1本

2024年3月4日から2025年3月3日まで

第1期 決算日：2025年3月3日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドを通じて、実質的に米国の取引所に上場している株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

基準価額(期末)	11,402円
純資産総額(期末)	768百万円
騰落率(当期)	+14.0%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2024年3月4日から2025年3月3日まで）

## 基準価額等の推移



※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

設定日	10,000円
期末	11,402円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+14.0% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※S & P 500インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(以下「SPDJ」といいます。)の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS&P<sup>®</sup>は、Standard & Poor's Financial Services LLC(以下「S&P」といいます。)の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup>は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(以下「Dow Jones」といいます。)の登録商標です。これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特

定目的での利用を許諾するサブライセンスが委託会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

### 基準価額の主な変動要因(2024年3月4日から2025年3月3日まで)

当ファンドは、マザーファンドを通じて、実質的に米国の取引所に上場している株式に投資を行いました。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

### 上昇要因

- F R B (米連邦準備制度理事会) が9月以降利下げに転じたことを好感し、株式市場が上昇したこと
- 米国経済が他国対比で優位にあるという見方が強まり、資金流入が続いたこと

1万口当たりの費用明細（2024年3月4日から2025年3月3日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	75円	0.687%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) <b>期中の平均基準価額は10,927円です。</b>
（投信会社）	(36)	(0.330)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(36)	(0.330)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.088	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(10)	(0.088)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(1)	(0.006)	
(d) その他費用	5	0.045	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.039)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.002)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	90	0.826	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

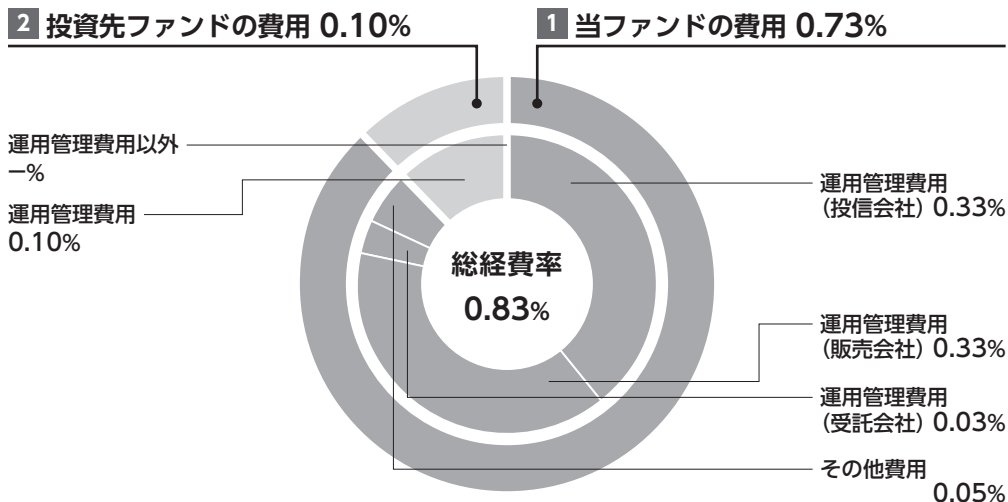
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。なお、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用は含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>0.83%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>0.73%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用の比率</b>	<b>0.10%</b>
<b>投資先ファンドの運用管理費用以外の比率</b>	<b>—%</b>

※ **1**の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(マザーファンドが組み入れている投資信託証券)の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。なお、**2**の投資先ファンドの費用には、当ファンドが組み入れているマザーファンドの費用は含まれていません。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

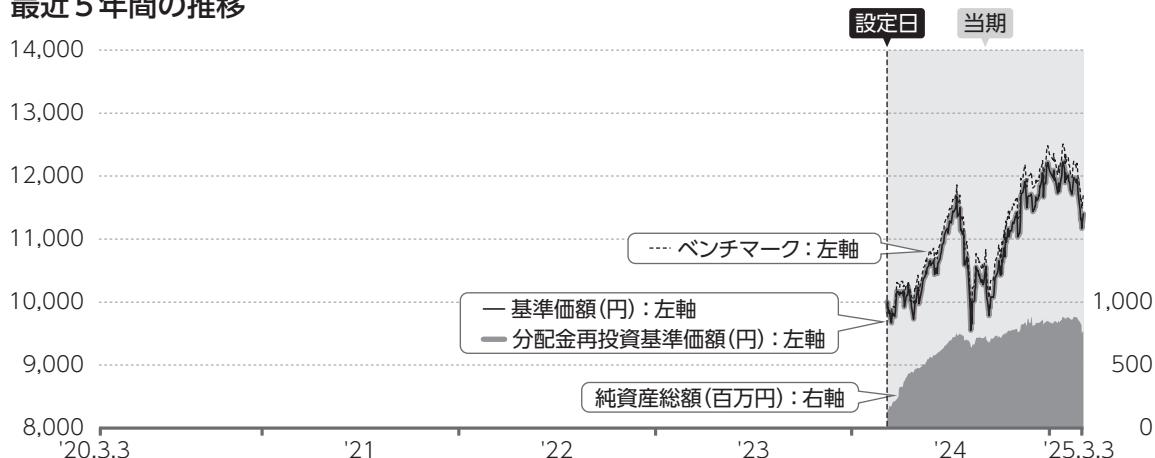
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.83%です。

最近5年間の基準価額等の推移について（2020年3月3日から2025年3月3日まで）

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日（2024年3月4日）以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2024.3.4 設定日	2025.3.3 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,402
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.0
ベンチマーク騰落率 (%)	—	17.4
純資産総額 (百万円)	135	768

投資環境について（2024年3月4日から2025年3月3日まで）

米国株式市場は、上昇しました。為替市場は、米ドルは対円でほぼ変わらずとなりました。

## 株式市場

米国市場は上昇しました。

米国外の景気が低調であり、スマートフォンやPC部品、自動車などの生産が伸び悩む中で、生成AI関連の一人勝ちともいえる展開が続きました。特に、大手テック企業によるデータセンターの建設期待などから関連銘柄が上昇しました。この他、株価上昇などの資産効果による旺盛な個人消費や長期金利の高止まり、トランプ新政権による金融規制の緩和期待から、金融株や一部の消費財株も強含みました。総じて、一部の成長をけん引する銘柄群による偏った上昇となりました。

## 為替市場

期末の米ドル・円は、設定時と比較してほぼ変わらずとなりました。

米国側からは米国経済が一人勝ちになるという観測が高まりました。ただし、米国では利上げが一巡し、利下げが開始されました。対する日本は、利上げ局面ではあるものの、利上げペースは大きく加速しないだろうという見方が強く、米ドルと円ともに強弱材料があり、一定のレンジ内での推移となりました。

ポートフォリオについて（2024年3月4日から2025年3月3日まで）

## 当ファンド

主要投資対象である「米国株式3指数アクティブマザーファンド」を、期を通じて高位に組み入れました。

## 米国株式3指数アクティブマザーファンド

S & P 500インデックス（以下、S & P

500）、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（以下、NYダウ）、ナスダック100インデックス（以下、ナスダック100）それぞれに連動することを旨とするETFを投資対象とし投資配分を調整しました。

※以下、各ETFはそれぞれ連動を旨とするインデックス名で表記します。

「セクターアプローチ配分」および「局面アプローチ配分」による定量判断により、より

魅力度が高い指数を選別しました。「ベース配分」では、S & P 500への投資を行いました。「セクターアプローチ配分」および「局面アプローチ配分」においては、定性判断により投資する指数の変更や比率の調整を行いました。

### ●株式組入比率

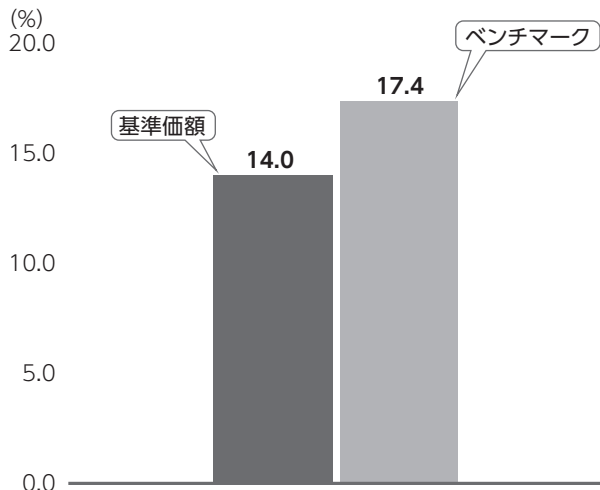
実質的な株式組入比率は高位を維持しました。

### ●指数配分

期を均すと、ナスダック100のウェイトを高位に、S & P 500のウェイトをやや高位に、NYダウのウェイトを低位に保つ運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について（2024年3月4日から2025年3月3日まで）

### 基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、S & P 500インデックス（配当込み、円換算ベース）をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

## ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+14.0%（分配金再投資ベース）となり、ベンチマークの騰落率+17.4%を3.4%下回りました。

### プラス要因

- 期を通じてナスダック100の組入れをやや高位に保ったこと

### マイナス要因

- 設定当初に大きくオーバーウェイトとしたナスダック100が調整したこと
- NYダウが、構成銘柄であるユナイテッド・ヘルス・グループやマクドナルドなどの株価が弱含んだことで、S & P 500インデックス対比でアンダーパフォームしたこと

## 分配金について（2024年3月4日から2025年3月3日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第1期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,402

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、「米国株式3指数アクティブマザーファンド」を高位に組み入れます。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

## 米国株式3指数アクティブマザーファンド

米国株式は、変動率が高まる局面こそあるものの、底堅い推移を予想します。トランプ政権の保護主義的な動きや地政学リスクの高まりは懸念されますが、株価の大幅な調整を起こす動きは回避すると考えています。また、生成AIは期待が剥落しつつありますが、今後は価格の低下や普及が始まり、企業収益の

貢献が年後半にかけて期待されます。製造業の景気動向は依然低調ながら、欧州や中国の景気持ち直しと共に、徐々に株式市場全般を下支えするものとみています。

景気・業績とも総じて株式に前向きな展開となる中で、回復の継続性を確認しながら、EPS（一株当たり利益）対比での株価動向などに基づき、投資インデックスの選別を行っていく方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

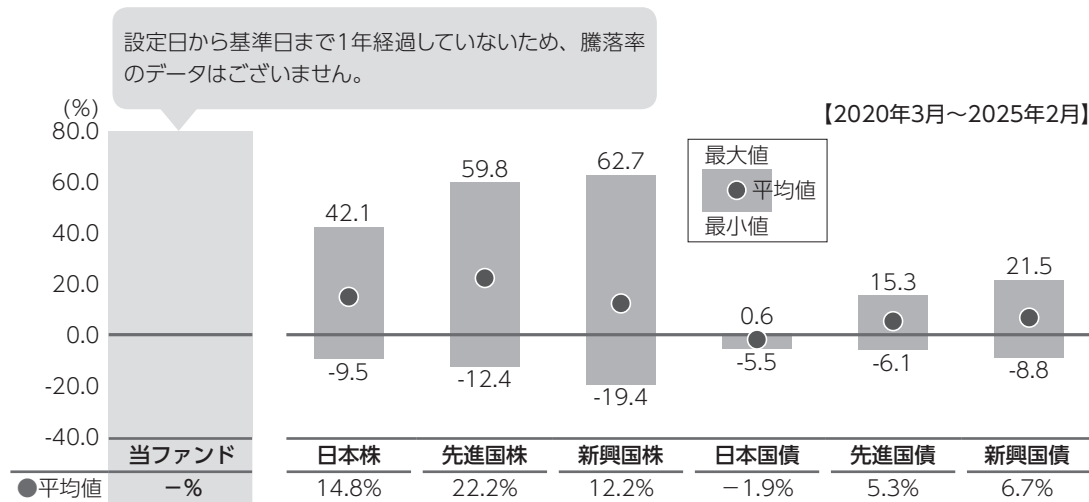
- マザーファンドが投資対象とする投資信託証券に米国籍投資信託（米ドル建て）「iShares Core S&P 500 ETF」を追加するため、信託約款に所要の変更を行いました。

（適用日：2024年11月29日）

## 4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2024年3月4日）
運用方針	マザーファンドを通じて、実質的に米国の取引所に上場している株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。  <b>米国株式3指数アクティブマザーファンド</b> バンガード・S&P500 ETF iシェアーズ・コアS&P500 ETF SPDR® ダウ工業株平均 ETF インベスコ NASDAQ 100 ETF
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実質的に米国の取引所上場株式に投資し、S &amp; P 500インデックス（配当込み、円換算ベース）を上回る投資成果を目指します。</li> <li>■毎月、S &amp; P 500、NYダウ、ナスダック100への投資配分を調整します。</li> <li>■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組入制限	<b>当ファンド</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul> <b>米国株式3指数アクティブマザーファンド</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回（原則として毎年3月3日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）</p> </div>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	<b>MSCIコクサイ・インデックス (グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCIエマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国国債	<b>FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国国債	<b>JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

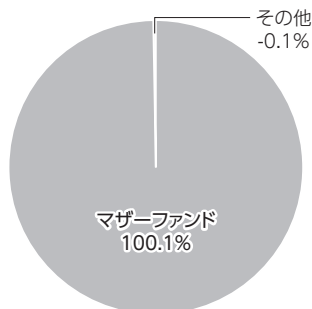
### 当ファンドの組入資産の内容 (2025年3月3日)

#### 組入れファンド等

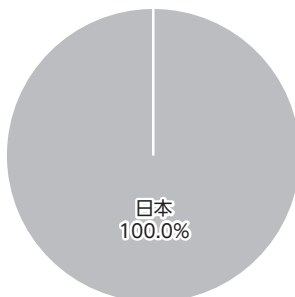
銘柄名	組入比率
米国株式3指数アクティブマザーファンド	100.1%
コールローン等、その他	-0.1%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

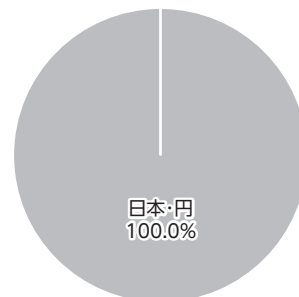
#### 資産別配分 (純資産総額比)



#### 国別配分 (ポートフォリオ比)



#### 通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第1期末 2025年3月3日
純資産総額 (円)	768,588,728
受益権総口数 (口)	674,057,241
1万口当たり基準価額 (円)	11,402

※当期における、追加設定元本額は1,147,849,768円、解約元本額は609,248,042円です。

組入上位ファンドの概要

米国株式3指数アクティブマザーファンド(2024年3月4日から2025年3月3日まで)

基準価額の推移



組入上位銘柄

(基準日：2025年3月3日)

銘柄名	組入比率
1 バンガード・S&P500 ETF	39.5%
2 インベスコ NASDAQ 100 ETF	33.9%
3 SPDR <sup>®</sup> ダウ工業株平均 ETF	24.7%
全銘柄数	3銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

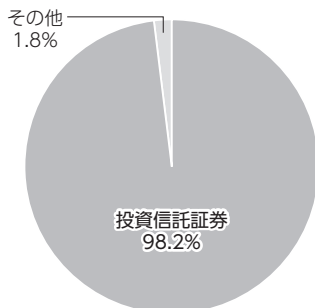
1万口当たりの費用明細

(単位：円)

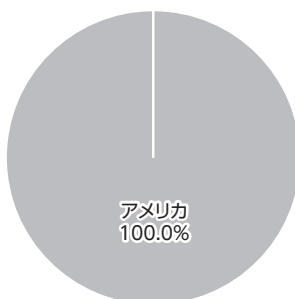
項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(投資信託証券)	10	(10)
有価証券取引税	(投資信託証券)	1	(1)
その他費用	(保管費用)	4	(4)
	(その他)		(0)
合計		15	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

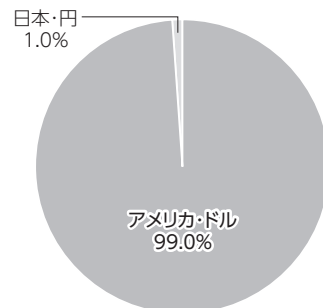
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2025年3月3日現在です。